



学校だより

# 上小川

～R6目標;みんな繋がり、解決する力を育てる～



上小川小HP

**大子町立上小川小学校**

久慈郡大子町頃藤5017-2

TEL 74-0029、FAX 74-3655

文責 校長 長山 芳子

<https://www.daigo.ed.jp/page/dir000003.html>

## 安心・安全で一人一人が成長する夏休みに

夏休み前の最後の授業日を迎えました。明日から、待ちに待った夏休みです。

「目標の自分と今の自分の差 未達を今日は『伸び代』と呼ぶ」

日曜日の茨城新聞にこんな短歌が載っていました。子どもたちにも私たち大人にも「伸び代」はたくさんあり、成長する機会はいくつになってもあるものだと思います。そのように前向きに考えられるのも、子どもたちや保護者の皆様、教職員同士に信頼があり、だからこそ安全安心が生まれ、「よりよくするには…」と考える心の余裕があったからです。夏休み前4ヶ月間、大変お世話になりました。

23日の全校集会で「自分の人生は、自分で作る」その気持ちをもって、自分の決めた目標(なりたい自分)に向かって、実行することで更に成長できると伝えました。おうちの人や先生は、いつもみんなを見ていて、必要なことはアドバイスしたりサポートしたりしますが、決めて行動するのは、自分しかない。自分の人生を歩むお子さんの成長をサポートをしていく仲間として、今年度は夏休み中に、二者面談(全員)を実施します。お子さんの学校での様子をお伝えしたり、家庭での様子をお伺いしたりしながら、更に子どもたちが自分の持ち味を発揮して頑張れるよう連携・協力していきたいと思ひます。

明日からの40日間、子どもたちが家庭で元気に過ごし、9月2日に元気な顔を見せてくれることを楽しみにしています。



山びこ園(学校畑)のひまわり

## 300冊読破!! 県知事賞受賞

6学年  
6学年

7月23日に読書冊数300冊を超えた児童2名に県知事からの賞状を伝達しました。これは、県の事業「みんなにすすめたい一冊の本事業」において、4～6年生累積で300冊読んだ児童への表彰です。

すすんで本を読む習慣は素晴らしいことです。夏休みには、直接体験をすることも多いと思ひます。また、本を読むことによって、さまざまなことを間接的に体験したり、様々な視点の考えを知ったりする機会になります。よい体験をたくさんして、成長する夏休みにしてほしいと思ひます。



## 学校環境が美しく整いました ～PTAによる奉仕作業～

7月20日(土)早朝6時30分より、PTA主催の奉仕作業を実施していただきました。この日は熱中症警戒アラートが発出されているほど猛暑の一日でしたが、保護者20名、児童14名、地域の方1名が、朝の早い時間に始まり、作業効率も良く、学校や山びこ水田などを、美しく整えていただきました。暑くなり始めた頃無事終了しました。終了後、PTA本部役員会を開催し、「今回も多くの方が参加し、自分の分担された場所を黙々と作業し、短い時間ではあったが、環境整備ができた。次回は、もう少し割振を明確にして始めたい。」との意見が出されました。次回は、9月28日(土)です。おかげさまで学校の環境が美しく整いました。大変お世話になりました。



## 授業参観と子育て応援学習会

7月11日(金)に授業参観と学級懇談会を実施し、PTA主催保護者学習会が開催されました。授業参観では、4月から3ヶ月経過し、お子さんや学級の子どもの成長した姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。

「子育て応援学習会」では、大子町教育支援センターのスーパーバイザー川井大輔先生をお招きし、「一つのものを見ていても、人によって見え方が違う」という体験をしながら、子ども自身の個性や違いを尊重しながら、かかわる大切さについて学びました。大人として子どものそれぞれのちがいを楽しんでかかわる余裕をもっていきたいと思ひました。



# 社会に開かれた学び

～教室の学びを社会に、社会の学びを教室に～

今年度は、各学年とも学校の外に積極的に出かけ、実際に見たり、携わっている方にお話を聞いたりして、教科書で学んだことが、実際の社会ではどのように展開しているのか学んだり、実際に見聞したことをその後の学習に生かしたりしながら、学びを深めています。

実体験は、「学ぶ心」に灯を付け、心を育てます。夏休みには、安全に気をつけて、家の内外でたくさん体験をして、好きなこと・得意なこと・興味のあることを見つけてほしいと思います。

## 【1・2学年 野菜作り】

1・2年生は、やまびこ園で夏野菜をたくさん作りました。人参やピーマン、ミニトマトなどたくさんの野菜を収穫することができました。



1年生も学校の一員として「朝のボランティア」にも取り組んでいます。上手に草刈鎌を使って草取りができるようになりました。

## 【3学年 りんご園見学】

生瀬の佐川りんご園さんにご協力いただき、りんご農家の仕事について学びました。



りんごの木の高さが、3m~4mになるのがすごいいました。りんご園のみなさん、案内してくださりありがとうございました。 3年

りんご園に行くと、りんごの名前をたくさん教えてもらいました。また、草刈ロボットがたくさん働いていて、驚きました。 3年



## 【4学年 環境センター・浄水場見学】

4年生は、社会科「私たちの生活を守る」の学習で、大子町袋田にある大子町環境センターと大子町下野宮にある大子町浄水場を見学しました。



私が心に残ったのは、焼却炉の温度が高温だったこと、そして、ごみ収集車がプラットホームというところから直接ごみピットに投入することがすごかったです。 4年

僕が心に残ったのは、大きなごみクレーンが大量のごみをかき混ぜるのがすごかったことと焼却炉が950度と高温で、熱そうだったことです。 4年



## 【6学年 常陸那珂港・火力発電所見学】

6年生は、小小連携事業として交流学习を兼ねて、社会科の貿易とエネルギーの学習で、ひたちなか市の常陸那珂港と火力発電所を見学しました。

船に乗って見学したときに海にあるケーソンの大きさに驚きました。また、お昼ごろに動いているRORO船がみられてうれしかったです。 6年



火力発電所のあった所が昔海だったことに驚きました。貯炭場に山のようにある石炭を見てびっくりしました。電気を作るのにたくさんの石炭が必要なので、資源を守るために節電します。 6年



## 【全学年 体育科「ういてまで講習会」】

7月22日（月）大子町消防本部の5名の講師の方をお招きして、「ういてまで講習会」を実施し、「自分の命は自分で守る」学習をしました。

まず初めに、紙芝居で「ういてまつ」ことが、川や湖等でおぼれそうな状況では有効であることを学んだ後、実際にプールで低学年と中高学年に分かれて、浮く方法を実習しました。子どもたちは、真剣に学び、体を浮かせるコツを体得していきました。最後に、講師から「川や海には、子どもでも大人でも一人ではいかないこと、そして、ボートなどのレジャーの時には必ずライフジャケットを身に着けることが大切です。」との指導がありました。

鈴木さんから、「去年、なかなか浮くことができなかった子ども、今年は上手に浮くことができるようになりました。低学年から体験すること、積み重ねの大切さを感じます。」との感想をいただきました。

ペットボトルを持っていると楽に浮けることがわかりました。夏休みに海や川に行くときにはライフジャケットや発泡スチロールを持っていけます。 5年

私は、水着より、服を着ていたほうがうまく浮くことができました。来年は、もっとうまくできるようにしたいです。 5年

僕は、「浮いてまで講習会」で、ペットボトルと靴があれば浮くことができることを学びました。 5年

